

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 6 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課長	荻田 信幸
健福-22	在宅福祉サービスセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	快適な施設の環境の保持を図るため。
効果	在宅福祉サービスセンター利用者の利便性の向上を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

・地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂在宅福祉センター及び台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	在宅福祉センター維持管理事業	光熱水費、清掃業務等手数料、総合管理業務等委託料	-	- / -	-	-	/
				28,936 / 31,327	30,078		
02	在宅福祉センター維持修繕事業	維持修繕料、備品修繕料	-	- / -	-	-	/
				3,421 / 6,137	6,490		
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	13,868 / 14,060	13,463		
			一般財源	18,489 / 23,404	23,105		
			事業費の合計(千円)	32,357 / 37,464	36,568		
		人件費(千円)		5,311	3,843		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.2	0.7	0.5			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	在宅福祉センター維持 管理事業	維持管理に係る経費は必要経 費であるため、指標の設定にな じまない。	施設環境の保持のため、事業と して妥当である。	施設を使用しているデイケアから、現 在家賃相当の使用料を徴収してい ないが、今後徴収を検討する必要が ある。
02	在宅福祉センター維持 修繕事業	施設の維持修繕は築年数によ る老朽化に比例し、必要となる 修繕を行っていくことが目的で あるため、指標の設定になじま ない。	施設環境の保持のため、事業と して妥当である。	建物の老朽化により、必要経費が 年々増加しており、機器の更新も 検討する必要がある。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
毎年維持修繕料が多く、施設の経年劣化が進んでいる。また、管理運営費も年々増加していることから、家賃徴収など管理の仕方について再検討が必要となる。					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	管理運営費(決算値)						単位	千円
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
在宅福祉センターの管理運営に係る費用の推移を見るため。	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	27,970	28,936					
	達成率	-	-	-	-	-	-	

指標(単位)	維持修繕料(決算値)						単位	千円
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
在宅福祉センターの維持修繕に係る費用の推移を見るため。	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	3,224	3,421					
	達成率	-	-	-	-	-	-	

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--